

8月2日(水)

戸塚高校情報教室にて

参加者 村松・鈴木勉・松尾賢太郎(横総)

内容

1、保体研ホームページ立ち上げにあたっての日程確認

掲載までの手順

掲載内容の検討と留意点(何をどのように載せるか) 8月2~4日の研修会で検討



初期 HP 完成



保体研理事会へ提案



保体研会長より市教委情報教育課課長あてに掲載依頼



掲載内容の変更・更新時のための ID・パスワードの取得

についての留意事項および知り得た情報

- ・ YY ネットのインターネット利用にあたってのガイドラインを参照すること
- ・ インターネット用(外向け)とイントラネット用(内向け)の違い(資料参照)
両方に掲載することは可能だが手続きが面倒のよう、どちらか一方にした方が良いとのこと
- ・ ホームページ作成ソフトはできるだけ重くならないようなソフトを使用すると良い。ワードは重い!大森氏はドリームウエイバーというソフト(4~5万円)を使っているそうだ(金持ち!)
市中学校英語研究会広報担当小出文則氏(鶴ヶ峰中)はホームページビルダーを使っている。
市中英研では昨年8月に市内向け(イントラネット)HPを立ち上げ、今年4月から外向け(インターネット)用HPを立ち上げた。当初は研究会内部だけと考えていたが会長の「世界に発信すべき」との意見があり両方立ち上げた。更新する側はそれほど面倒でもないとのこと。
HPを立ち上げてよかった点は研究会の会報や弁論大会の申し込み用紙をPDFファイルで載せたり、その他の申し込みは事務局当てにメールですることにより今までの手間がかなり省けた。
立ち上げてまだ日がたっていないのでいろいろなことを模索中であるが今後は研究授業の様子を動画で配信しようと思っている。
- ・ 個人の写真掲載等は本人の確認が取れていれば OK、顔写真などは名前と顔を一致させるような掲載方法や正面からの写真は避けたほうがいいのかも
- ・ についての留意事項および知り得た情報
- ・ ガイドラインに沿って作成された各組織のHPは基本的には検閲しないそうです。
- ・ 掲載内容の変更・更新についてはどの学校(市立高校)でも可能、ホストコンピューターとのやりとりはFFFTPなどのフリーソフトでできる

2、WEB ページ作り

初期掲載画面の作成 8月2日~4日まで